

財務状況について

学校法人鉄蕉館 財務統括部

◆平成 30 年度決算の主な概要

1. 資金収支計算書（活動区分資金収支計算書）

【法人全体】

22 億 3,836 万円となった。

寄付金、減価償却特定資産取崩収入等による増収により前年度対比プラス 3 億 4,901 万円

【亀田医療大学】

15 億 3,399 万円となった。

寄付金、繰越資金等の増収により前年度対比プラス 2 億 2,278 万円

2. 事業活動収支計算書

【法人全体】

事業活動収入は 12 億 7,565 万円となった。

前述による増収により前年度対比プラス 8,005 万円

事業活動支出は 10 億 4,277 万円となった。

人件費削減等により前年度対比△2,553 万円と費用の抑制化が図れた。

（しかしながら前年度は亀田医療大学 I T 基盤リース資産の除却による資産処分減価が 2,390 万円計上されていた為、実質的には前年度とほぼ同水準である。）

当年度収支差額は△5,817 万円となった。

前年度対比△1 億 4,726 万円となり平成 27 年度以来の赤字となった。

しかし、鴨川市より建物（屋内運動場、武道館、実験室棟）の無償譲渡、亀田医療大学建築資金借入金一括返済、亀田医療技術専門学校 1 号館空調工事等に伴う基本金組入によるマイナスであり、基本金組入前当年度収支差額においては前年度対比 1 億 558 万円のプラスとなっている。

【亀田医療大学】

事業活動収入は 8 億 5,761 万円となった。

寄付金や鴨川市からの建物現物寄附等による増収により前年度対比プラス 865 万円

事業活動支出は 7 億 559 万円となった。

前年度対比△2,447万円と費用の抑制となった。

当年度収支差額は△1,322万円となった。

前年度対比△1億2,556万円となったが、前述の通り無償譲渡による基本金組入によるマイナスであり、基本金組入前当年度収支差額においては前年度対比3,313万円のプラスとなっている。

3. 貸借対照表（平成31年3月31日時点）

【法人全体】

総資産は42億4,873万円となった。

前年度対比プラス1億2,480万円

増加の理由としては特定資産組入、亀田医療技術専門学校1号館空調工事等である。

総負債は11億8,075万円となった。

前年度対比△1億808万円

減少理由として一部は年度末の長期借入金4,691万円の一括償還である。

純資産は30億6,797万円となった。

前年度対比プラス2億3,288万円

主な理由としては資産取得による第1号基本金の増加である。

【亀田医療大学】

総資産は30億5,630万円となった。

前年度対比プラス5,369万円

総負債は6億1,920万円となった。

前年度対比△1億1,623万円

減少の理由として前述と併せ未払金の減少。

純資産は24億3,809万円となった。

前年度対比プラス1億5,202万円

法人全体の特徴として収入に関しては寄付金に多く依存している状況。今後も継続的に適正な予算執行、学生の確保、積極的な外部資金の獲得や経費節減に努め、財務基盤の安定化を目指すものとする。